

# はなぞの ファミサポ・レター



コロナが5類になり、不自由だった生活がやっと緩和されましたね。ご家族の皆さまにも、長らくご不便をおかけしましたが、ご理解、ご協力いただきありがとうございました。

さて今回は、入院中の患者さんのご家族に、「ご家族から患者さんに伝えたいこと」を募集し、ご回答をいただきました。約2年ぶりの対面での面会の喜びや驚き、昔の楽しかった思い出、治療に取り組む患者さんに伝えたい言葉など、ご紹介させていただきます。

## 令和5年1月に、久しぶりに面会された感想

- やっぱり直接会えるのはうれしい。(親・兄弟姉妹)
- 名前も覚えてくれていましたし、普通に会話が出来てとてもうれしかったです。(子供)
- 2年3か月ぶりに会って痩せていたことに驚きました。(親)



## ご家族での楽しかった思い出

- お正月初詣に神戸のいくつかの神社に参拝したことが思い出されます。(兄弟姉妹)
- 数十年前、弟小1、私小3の頃の家は、小高い丘の上に建っており、のびのびしていて平和でしたね。亡き母も元気でした。(姉)



## これから患者さんと一緒にやってみたいこと



- コロナ禍での時間制限がなくなったら、病院の地下の食堂でラーメンでも食べたいです。(姉)
- 元気になって、また穏やかに暮らしてくれたら何も望まない。(姪)
- 面会が出来るようになったら歩行訓練してやりたい。(親)

## 治療に取り組む患者さんに伝えたい言葉

- つらいと思います。悲しいと思います。嫌になるときもあると思います。でもおばさんも皆さんも少しずつ元気になってほしいです。待っています。(姪)
- いつもよくやってるね。(親・兄弟姉妹)
- 焦らず、ゆっくり治療に専念してください。(親)



## 自由記載

- 家族のことを気遣ってくれてありがとう。気楽にのんびり過ごして下さい。退院できる日を楽しみにしています。(兄弟姉妹)
- お母さんのことは心配なくていいです。いろんな人と協力しながらやってます。(母)
- 対面での面会はとても有意義なものでした。機会がありましたら、またお願いします。(子供)

お返事いただいたご家族の皆さま、ご協力いただき本当にありがとうございました。皆さまからの温かいお言葉に、スタッフも気持ちがほっこりしました。このレターが届く頃には、対面での面会が再開されていると思います。患者さんもお家族も、楽しい時間を過ごされることを願っています。